

笠岡市・里庄町自立支援協議会

●令和4年度地域生活部会名簿（原則 毎月第4月曜日 13時30分から）

	事業所・団体名	職名等	氏名	備考
1	障害者支援施設こうのしま荘	指導員	有岡 理美	
2	ときわ	支援課長	友國 康司	部会長
3	障害者支援施設笠岡学園	副管理者	杉本 秀幸	
4	笠岡市・里庄町相談支援センター	主任相談支援専門員	村本 めぐみ	
5	かさおか発達・生活サポートセンター	相談支援専門員	内田 公子	
6	笠岡市	係長	高本 聡	事務局
7	笠岡市	社会福祉士	妹尾 昌哉	事務局
8	里庄町	主事	土倉 幸大	事務局
9	生活介護事業所 三洋	管理者	柚木 太陽	
10	生活介護事業所 三洋	支援員	原口 孝路	
11	児童発達支援事業所 すみよしキッズ	管理者	野村 泉	
12	西備支援学校	教諭	石田 豊美	
13	備中保健所井笠支所	主幹	森本 健介	
14	公益財団法人仁和会 ももの里病院	精神保健福祉士	木野内 留美	
15	重度障害支援センター すまいるハウス	管理者	畝川 いずみ	
16	県知的障害者相談員協議会	副会長	原田 てつよ	

令和4年度部会年間活動報告

部会名	地域生活部会	代表	ときわ 友國 康司
テーマ	緊急時の受入れについて		
開催日	6月21日, 9月27日, 10月26日, 11月28日, 12月26日, 1月23日, 2月27日, 3月27日 (全8回)		
内 容	<p>本年度の取り組みとして、昨年度に引き続き「緊急時の受入れ」と決まる。</p> <p>(1) 新進的に実施されている地域を参考に、地域生活支援拠点の整備方法を習得 県のアドバイザーに地域生活拠点等について講師を依頼し、6月21日に講演。 講師：社会福祉法人泉学園 岡山南障害者支援センター 相談支援アドバイザー 村上 眞 氏</p> <p>(2) 地域生活拠点の整備 部会において「緊急時」についての定義を協議し、次のような状態があてはまるとした。 あわせて、近隣市町村の資料を参考に利用者の事前登録の様式、事業所の地域生活拠点等への参加手順などの協議を行った。</p> <p>【対象者】 次のいずれにも該当し、緊急時の受け入れを要する方 <input type="checkbox"/> 笠岡市民または里庄町民 <input type="checkbox"/> 障がいのある方 (障害者手帳, 精神通院の受給者証, 障害名のついた診断書を持たれている方) <input type="checkbox"/> 在宅生活をされている方</p> <p>【緊急時の定義】 <input type="checkbox"/> 葬式や病気などやむを得ない事由で支援者が不在になった場合 ※支援者…ヘルパー等の事業所職員は含めず、親族や友人など日頃から支援をしている方 <input type="checkbox"/> 火事や災害などで住むところがない場合 <input type="checkbox"/> 虐待窓口から相談があった場合 ※上記のいずれについても、その事由を知った日から2日以内(当日・明日)に対応が必要となる案件でなければならない。</p> <p>(2) 今後の活動内容について 下記の日程で地域生活支援拠点等事業の説明会を実施し、協議会総会においても地域生活拠点等について情報提供する。</p> <p>令和5年4月24日(月) 13時30分～ 笠岡市保健センター</p>		
次年度の計画	地域生活支援拠点の整備(緊急時の受入れ体制の整備ほか)【継続】		

笠岡市・里庄町自立支援協議会

●令和4年度相談支援部会（原則 毎月第3水曜日 午前中）

	事業所・団体名	職名等	氏名	備考
1	笠岡市・里庄町相談支援センター	相談支援専門員	村本 めぐみ	部会長
2	かさおか発達・生活サポートセンター	管理者兼 相談支援専門員	内田 公子	
3	かさおか発達・生活サポートセンター	相談支援専門員	春尾 奈美子	
4	かさおか発達・生活サポートセンター	相談支援専門員	今井 智恵子	
5	かさおか発達・生活サポートセンター	相談支援専門員	三原 香	
6	こうのしま荘障害者相談支援センター	相談支援専門員	竹内 恒夫	
7	相談支援事業所 催花雨	管理者兼 相談支援専門員	秀平 尚子	
8	相談支援事業所 山陽	管理者兼 相談支援専門員	大嶋 広行	
9	ときわ相談支援事業所	相談支援専門員	樋之津 孝江	
10	特定相談支援事業所すみれ	相談支援専門員	山本 美咲	
11	のぞみ計画相談支援事業所	相談支援専門員	山本 広美	
12	笠岡市・里庄町相談支援センター	相談支援専門員	江木 京子	
13	笠岡市健康福祉部地域福祉課	主任主事	鶴藤 哲也	事務局

令和4年度部会年間活動報告

部会名	相談支援部会	代表	笠岡市・里庄町相談支援センター 村本
テーマ	地域課題の抽出と事例検討		
開催日	4月27日, 5月25日, 6月20日, 8月17日, 9月21日, 10月19日, 11月16日, 12月12日, 1月18日, 2月20日, 3月13日 (全11回)		
内 容	<p><地域課題の抽出></p> <p>相談支援専門員として業務を行う中で感じる, 困ったことや疑問に思ったことなどをもち寄り, 課題抽出を行っている。課題の解決のために必要なアイデア出しなどを行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当していた相談支援事業所が知らない間に事業所を変更されていた ・虐待通報や虐待ケースの対応について ・ヘルパー, 移動支援, 計画相談の不足 ・私立保育園での障害児の受け入れについて ・里庄町の方は地域活動支援センターが利用できない ・放課後等デイサービスの廃止や適切なサービス量の決定について ・意思決定支援と医療機関との連携について <p><事例検討></p> <p>事例検討を通して, 相談支援専門員が抱えている困り感の共有や解決に向けたアドバイスを行う。これにより, 相談支援専門員の抱え込みの防止, 知識の積み上げ, 視野の拡充を図り, 相談支援専門員としての質の向上と孤立の解消を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来の自立に向けた取り組みのため, 本人および家族の支援を検討 ・通信制高校卒業後の仕事探しについて ・家庭全体に支援が必要と思われるケースの支援について ・本人の希望と現実がリンクしておらず, 治療にも拒否的なケースについて ・ヘルパーへの苦情や利用者トラブルなどを抱えたケースの対応について <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業所情報の共有 ・新規事業所の職員による事業所紹介 コーリングサポ笠岡 (就労移行支援事業所) 相談支援事業所パール (相談支援事業所) ウェルビー福山センター (就労移行支援事業所) ビジネスカレッジ PONO (就労移行支援事業所) グループホームきらり (共同生活援助事業所) 		
次年度の計画	<ul style="list-style-type: none"> ・地域課題の抽出 ・事例検討の実施 		

笠岡市・里庄町自立支援協議会

●令和4年度就労部会名簿（原則 毎月第1水曜日 13時30分から）

	事業所・団体名	職名等	氏名	備考
1	多機能型事業所 HappyComeCome	サービス管理責任者	塚口 博之	部会長
2	多機能型事業所かさおか	管理者	新居 宏介	
3	四つ葉の家	サービス管理責任者	山崎 和幸	
4	ヴィレッジ興産	サービス管理責任者	川崎 裕美	
5	笠岡市・里庄町相談支援センター	相談支援専門員	江木 京子	
6	倉敷障がい者就業・生活支援センター	所長	入江 玲子	
7	倉敷障がい者就業・生活支援センター	就労支援員	森定 典子	
8	さとみ	管理者	柚木 竜太	
9	西備支援学校	進路指導	原田 稚子	
10	公益財団法人仁和会 ももの里病院	精神保健福祉士	木野内 留美	
11	公益財団法人仁和会 ももの里病院	作業療法士	高田 恵資	
12	コーリングサポ笠岡		山内 雄司	
13	すみれ会 パンジー	サービス管理責任者	守屋 恵子	
14	県知的障害者相談員協議会	副会長	原田 てつよ	
15	笠岡市	地域おこし協力隊隊員	高村 颯	
16	笠岡市	嘱託（就労支援員）	別府 英生	
17	笠岡市	係長	高本 聡	事務局

令和4年度部会年間活動報告

部会名	就労部会	代表	多機能型事業所 Happy Come Come 塚口 博之
テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・研修 ・企業、事業所の見学 		
開催日	4月25日、6月14日、7月14日、8月25日、10月26日、1月11日、2月8日、3月1日（全8回）		
内 容	<p><部会取組></p> <p>(1) 企業・事業所の見学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の事業所がどのようなことをしているのか興味があるので見学したい。 →企業より事業所の見学を優先し、各事業所に見学先の事業所の希望を確認 ・各事業所の日程の都合が取りにくい、コロナ禍で大人数で事業所を訪問できないなどの課題を確認 →対面は受入先の対応が難しくなることから ZOOM 中継を実施することとする。 利用者の声についてはプライバシーもあるので行わないこととする 事前の質問事項（3つ）を各部会員で考える デモとして部会長のHappyComeComeを中継 ・音声聞き取りにくい、カメラがぶれるなどの課題を確認 →作業所の様子は事前収録とする。収録時は3人体制とする 事前の質問事項（3つ）を①送迎のエリア及び方法、②施設の「売り」、③利用者の障がい種別とする ・事業所の事前収録及びオンライン見学会の実施（見学先：リンクスライブ笠岡） →出来は十分との意見多数。一方で収録と編集に相当時間がかかること、機材の調達などの課題を確認 <p>(2) 研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修内容について検討 →研修に関する予算がないため今年度の研修はせず、来年度に予算確保をして実施 <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新代表に塚口さんを選出 ・新規事業所の紹介 コーリングサポ笠岡 ・定期的に開催するべきとの方向性となったことから原則第1水曜の午後1時30分からとする。（ZOOM前提）。 		
次年度の計画	<ul style="list-style-type: none"> ・研修 ・事業所の見学 		

笠岡市・里庄町自立支援協議会

●令和4年度子ども連絡会

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により開催することができなかった。

令和5年度は、子ども部会の立ち上げを行い、協議を実施していく予定。